

		坂井小	筑北小	決着	係継続	三役審議	校長会審議	一時保留
特別活動	1・学級活動	平井・堀内	上条・小岩井	・坂井案で	・なかよしの時間を運営方針を合わせる。 →児童会係と連携しながら運営していく方向			
	2・学校行事	下平	召田	・時数削減の方向で両校歩調をそろえる。	・遠足は坂井小の方式が軸	・始業式・終業式は業間に設定 ・交通安全教室は1回 ・運動会は午前中 ・英語は各校で研究	・応援団との関係、両校にある組織をどうするか。 ・参観日と総合学習発表との関係	
	3・地区児童会	小岩井	太田		・授業時間外で行う。 ・筑北小6支部、坂井2支部、計8支部でどうか。 ・地区懇をなしにして、民生児童委員に地区児童会に参加してもらう。	・地区児童会の運営方針をそろえる 地域で実施する懇談会への出席・開催回数等 ・地区数など、すり合わせを行う。		
	4・児童会	加藤	坂楨	・筑北小をベースに運動委員会を加えて7委員会とする。 ・新児童会の会則を筑北小で作成	・統一時の委員会数と内容を検討 →委員会数は人数から考えて6~7 児童会祭りは、子どもの意識から考えたいが、時数のことを考え削減も視野に入れての検討が必要 二期制 なかよしの時間は学級活動係と連携 ・児童会祭りの開催の有無	・統合後の6年担任は筑北小学校からの職員にして欲しい。		・運営については各校現状のまま保留
	5・クラブ活動	中澤	筒井	・発表会として授業時間とはとらない。 ・展示は校内のみ	・クラブ発表会の持ち方 →発表会を行いたいが、時数の関係から削減も視野に入れて検討が必要。 展示発表も希望するクラブは行うが、村の文化祭などに出品するのどうか。 ・時間のとり方を統一していく。(発表会も含めて)→全体の計画にそろえていく		・H31は「地域ふれあい講座」「手作り遊びの会」を合同開催して、クラブの活動とする。	
	6 ・金管バンド (課外活動) (坂井小は、陸上クラブ、みどりの少年団あり)	波場	坂口	・活動場所として、支所、公民館ともに適さないで、坂井小が現実的 ・発表の機械は、音楽会、北部吹奏楽祭、まとめコンサートの3回が基本	・朝の活動は相当厳しそう ・存続するとしたときにどう運営するか、施設面なども含めて、何を整えていけばよいか検討。 →4~10月:帰りの会終了後~16:20(毎日) 11~3月:水曜帰りの会終了後~16:00 +2日20分程の短時間練習がどこかでとれるか。 4~10月も水曜は帰りの会終了後~16:20の練習とする。 16:20の遅バスを出していただきたい。 音楽室をもう1つ(音楽室と楽器庫)作っていただきたい。 金管と授業は別の音楽室で行う。 職員会のある水曜に指導していただく外部講師をH30から応援団にあたっていく。 H31年度引継ぎ後は、2校同じ曲を練習していく。 練習場所として公民館や支所3階を検討したい。 ・坂井小内での活動場所、楽器置場	・日課の調整		
7・人権教育	堀内	坂楨	・全体計画は筑北小がベースに	・なかよし週間(1学期)を位置づけるかどうか。 →1学期にも位置づける(筑北小にそろえる)	・統合後は福祉教育を分ける。(各種教育と指導部の分掌を筑北小にそろえる)			
8 ・環境教育 (坂井小は清掃指導を分ける)	小岩井	横村	・ワックスがけは業者依頼	・校務分掌の分担・内容を検討 人数が増えるので、筑北を元に →環境教育の内容で「清掃指導」は取り出して別の係を位置づけていく。 みどりの少年団育成協議会の役職の割り振りをどちらに合わせいくか、すり合わせが必要となりそう。 ・次回から環境(坂井)と園芸と清掃(筑北)の三者で部会を持ちたい。				

指導部部会

9	・安全教育 (筑北小は安全指導、バス指導が別)	尾和	小岩井		係でベストな実施スタイルを検討しつつ、各校で来年度から少しずつそれにあわせていく。 ・交通安全教室の時期 ・引渡し訓練の方法 ・下校指導 →交通安全教室は、自転車の運搬が課題。村で、土日に行うような案も検討したい。 引き渡し訓練については、参観日と絡んでくるので他の部会との協議が必要。 下校指導は、バス指導と合わせて行っていく。 ・年度初めの登校指導(本城、坂北地区のバス指導)			
10	・福祉・交流 (坂井小は人権教育に含まれる)	加藤	大野		・交流についてどこの係が進めていけばよいか検討 ・校務分掌の分担・内容を検討 →交流については、各学年にわけ総合的な学習の時間等を利用していく。推進は、総合的な学習の時間係も加わっていくのはどうか。 筑北小と坂井小の交流は、年2回ほど各学年で位置づけていく。		・コミュニティスクールの運営方針を	
11	・情報・視聴覚教育	下平	西沢	・教育計画は坂井小を基に統一(プログラミング等も加える)	・各校で推進を進める 来年度の交流の一つの柱としてICT活用を取り入れていけばどうか。 →合同クラブ(パソコンクラブ)でプログラミング等をしていけたらどうか。 テレビ電話や掲示板活用の可能性(理科や社会科、合同行事打合せ、情報モラル教育等) 参考:「ラインワークス」 ・交流について情報を共有する(ラインワークス等)			
12	・幼年教育 (筑北小は就学前教育)	堀内	大熊	・児童かばんは保護者部会で決定 ・係名を「就学前教育」とする。	・保小連絡会の運営方針をすり合わせて統一してしまう。 →保小連絡会は、坂井小に合わせる方向。 来入児と5年生の交流は、筑北小に合わせていく。 H30発達検査時と5年生の忙しくないときに計画する。 H31発達検査時と一日入学時に5年生と交流する。 ・発達検査の統一 ・入学後の日課について来年度からそろえる。→日課の見直しを行う。 ・統合後の保育園交流の実施について ・生活の決まりを合わせる→筆箱の中身についても統一の方向で考える。 着替えは統合後名前を覚えるためにも都合がよい。 ・着替えの方法や場所の案を →登校したら体操着に着替え生活し、放課後私服に着替える方向で。 着替えの時間を統一し、場所については(案) 男子集会室 女子各教室	・就学時健康診断を村教委の主催へとシフトできないか。		
13	・生徒指導	波場	丸山・太田	・NRTはやらない ・CRTは2教科				
14	・キャリア教育	太田	山越	・済坂井小計画で統一				
15	・保健教育 (筑北小は保健指導)	一志	滝澤	養護教諭に一任継続	31年度同じ教育計画で両校実施。 危機管理マニュアルに保健関係のものも入れて行く方向で。 ・県の手引きを参考にして、坂井小をベースに各校児童の実態から課題に即して作成す			

専門部会	16	給食教育 (筑北小は給食指導)	松下	橋詰	栄養士に一任継続	<ul style="list-style-type: none"> ・現在各校の栄養士が行っている、業務の分掌の案を作成 食数把握・職員・給食教育 コンテナの扱い →給食費徴収については、徴収の仕方等今後の状況によって協議していく。→筑北小方式で4～1月の10ヶ月集金にする。 ・養教とのかわりや児童委員会により内容、実施時期等検討が必要 ・弁当給食や交流給食は食数が多く難しいので、統合後一年は様子を見て考える。 			
	17	学校事務	中山	志賀	事務職員に一任継続	<ul style="list-style-type: none"> ・JAのタイプの文書を室用文所にするか麻績文所にするか検討する。 ・坂井小はH31年度から口座振替に移行できるように調整していく。 ・坂井小へ持って行く備品を教科と連携しながら選別していく。坂井小に置き場所がないので厳選すべき。 ・旅行貯金の額については行事が決まったところで金額を検討していく。 ・事務分担表については30年度から筑北小にあわせていく。 ・古いパソコンはwin7だけなので統合前にサポート終了が来てしまう。 ・事務分担表の位置づけ ・学校事務周知事項は精選 ・学年会計処理手順、マニュアルをまとめる。 ・各校で備品の現有調査を行い、見つからない備品は台帳から外す方向で考える。 			
	18	図書館 (筑北小は読書指導)	小出	五十嵐	春は読書週間に統一	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間などの行事を統一で検討 →週間・旬間は、春に週間、秋に旬間に統一H30から見通しながら購入、廃棄を行う。 ・館内の圖書の配置 ・本の購入、廃棄 →全学年台本板使用、図書館の時間は筑北小方式 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティアのお願いの仕方 ・一年間の活動費をどうしていくか。 原則無償がいいが、まとめて年5千円～1万円くらいならよいか。 		
CS	19	応援団 (筑北小は地域連携)			<ul style="list-style-type: none"> ・発表会などを出来るだけ授業時間からはずしていく方針で 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度末に両校長、応援団長の会を開催し、互いの活動について情報交換を行った。今年度はできるだけお互いの活動を参観し合うために活動計画の通知を互いに出し合うこととした。 ・村教委の生涯学習係の青柳さん主導で両CSの会合の開催を依頼した。教委とも相談しながらCSの統一を少しずつ進めていく 			
	20	国語	小出	織茂	<ul style="list-style-type: none"> ・教育計画は、坂井小を基本にして、一部筑北小の内容を加える。 ・漢字検定回数は、筑北小に合わせて、年2回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校文集について、編集、業者が違うので、どうすればよいか。 筑北小 モノクロ チクホク印刷 坂井小 カラー有 大気堂 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校文集を継続するかどうか、各学校で意見を聞く。 ・継続する場合、文集名「ちくほく」、業者、チクホク印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ・村校長会で教育委員会へ打診する。 	
	21	社会	一條	上条		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、見学している場所を精選する。その上で本城、坂北、坂井各地区を回れるようにしていく。→3学年の見学場所をバランスよく 			
	22	算数	中澤	大熊		<ul style="list-style-type: none"> ・教材教具で古い物は各校で判断し、それぞれで処分する。 ・プリント類も古い教科書対応の物は処分していく。 ・「指導上の留意点」という項目を入れたほうがよいかどうか、統一した上で再検討していく。 →新教育計画で全教科統一できるとよい。 			
	23	理科	鎌崎	丸山	<ul style="list-style-type: none"> ・備品、薬剤に関しては、筑北小のものを取捨選択して坂井小へ移動する。しかし巨大標本など不必要なものは移動しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机いすは現在20人対応なので、30人へ改修ができるかどうか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科室の机増設について、村教委へ要望書提出済 		

教科等	24	生活	堀内	織茂	・教育計画の形式は坂井小 ・活動に協力いただける場所と人の情報を両校とも載せるようにする。				
	25	音楽	波場	坂口・筒井	・音楽バックは、統合後、廊下にフックが着くなら用意してもらおう。	・各教室のオルガンは、年に一台ずつでもよいので新しくしていけるとよい。 ・新校歌の練習はH31の3学期から練習開始のイメージ			・備品、楽器の移動について
	26	図工	宮寄	阿部・横村	・基本的に坂井小 運営(2)作品展示に入れ	・坂井小4. その他「教科書教材は・・・」は削除または表現の変更へ			
	27	家庭科	波場	坂口・筒井	・ミシンは統合後、計20台になるように不足分を筑北小より移動。 ・アイロン、アイロン台は状態のよい物をすべて坂井小へ ・調理道具、食器類は必要				
	28	体育	小岩井	太田	・水泳学習は一学期のみ(坂井スタイル) ・運動会は午前のみ、弁当なし ・富松先生の授業支援について、項目を立てて記述す	・水泳帽子の色について→筑北小にそろえる。 ・運動着について ・女子の着替えについて			・夏休みのプール開放について→なしの方向で
	29	道徳	加藤	召田	・計画は坂井小をベースに作成 ・人権教育月間は筑北小にそろえる。 ・通知票は記述で欄を設ける。 ・各学年の副読本は1～2冊保存して廃棄。ビデオ、スライドも廃棄の方向	・人権教育月間の詳細について			
	30	外国語 (筑北小は国際理解教育が別)							
	31	総合	下平	上条	・米作り、白菜は続ける ・白菜の連作はできないので畑を2箇所確保する。	・白菜作りの担当学年 ・白菜通帳(筑北)、米通帳(坂井)の扱いについて ・備品について	・白菜作りは3学年 ・通帳は原則、統合までに使い切る。 ・統合後は「ふるさと学習通帳」として運用し、CSの活動でも使えるようにする。		
	32	生徒指導委員会 (筑北小はいじめ不登校対策委員会) (坂井小は、心の支援係として、指導部教育支援委員会)	波場	丸山	・統合後は更衣室のスペースが確保できないため、高学年は毎日同じ時間に着替えるようにし、男子は各教室、女子は集会室(カーテン使用)で対応する方向。	・学習用具のきまり、「話し方名人」「聞き方名人」などはどのように合わせていくか。	・名称に「いじめ不登校」の文言を入れる		
	33	教育支援委員会 (筑北小は就学相談・特別支援委員会) (筑北小は別途各種教育にも特別支援教育あり)	中澤	召田		・項目をどう統一していくか。	大枠の標記の仕方やくりをどうするか。 ・名称は「教育支援」で統一		
34	学校評価委員会	下平	召田		・保護者アンケートはほぼ同じ方法で行われている。内容の確認のみでよい。 ・英語の評価など、その時々タイムリーな内容の評価を盛り込む。	・外部評価委員は応援団とする。 ・公表は学部評価を経てからにする。			

	35	調査書作成委員会	加藤	大野	・坂井小の計画をベースに ・構成メンバーは筑北小 ・筑北小の4その他を坂井 の最下部に入れる。				
	36	非違行為防止委員会	宮寄	大野	・坂井小で				
	37	学校保健委員会	村田	米山	・坂井小で				
	38	学校衛生委員会 (「安全」を入れる)	村田	米山	・坂井小で				
	39	ハラスメント防止委員会 (坂井小はスクール セクハラ)	村田	米山	・坂井小で				
	40	給食運営委員会 (坂井小はなし)	松下	橋詰		・筑北小年一回開催、坂井小なし、必要性の 検討(できれば継続の方向で)			
	41	食物アレルギー対応委員会	松下	橋詰					
	42								
	43	ベルマーク運用						・統合後集めない。統合前にOに する。	
	44								
	45								
	46								
	47								
	48								
	49								
	50								